

無所属市民派

瀬野喜代 情報公開と市民参画をめざして



せのきよの 区議会ノート

区議会での会派は民主党・市民の会です

2015・初春
第47号

介護
子育て
環境

<http://senokiyo.main.jp/s11/> ホームページは【せの喜代】で検索してください

〒116-0013 荒川区西日暮里2-13-8 TEL/FAX:03-3891-0203 E-mail:senokiyo@yahoo.co.jp

区議会ノートあるいはミニ通信を本会議開催ごとにお配りしています。毎号の購読をご希望の方はぜひご連絡ください。ホームページ、フェイスブック、ツイッターは随時更新していますので、こちらもぜひ、ご覧ください。

認知症になっても 楽しい毎日を過ごすために



こどもと遊ぶのが楽しい

私は今、91歳の認知症の母と暮らしています。遠距離介護を経て、兄の死去をきっかけに4年前に同居を始めました。母が子どものころ家族マージャンをしていたというので、自宅でマージャン教室

を始めました。それを拡大して **介護予防サロン三河島いきいき教室** を、2012年7月から三河島駅前の朋友柔道専門学校で運営しています。さらに、昨年8月から、日曜日に西日暮里2丁目北児童遊園で **認知症カフェ** を始めました。昔、茶道を習ったことのある母が、抹茶のサービスで、ご近所の皆さんをもてなしました。公園に遊びに来た親子連れとも、交流が生まれました。赤ちゃんを抱いてあやす母は本当にうれしそうです。2歳の子どもたちも、「おばあちゃん」と慕って一緒に遊んでくれます。お年寄りが子どもと触れ合う機会をもっと増やすことが必要です。

(2面につづく)

懐かしい歌を歌うのが楽しい



今までのほとんど歌に興味を示さなかった母が、なつかしい童謡・唱歌・歌謡曲を手拍子しながら楽しんで歌うようになりました。いろいろな介護施設で行っている **歌声サロン** に母も一緒に参加しています。重度の認知症で会話が成立しない方も、なつかしい歌には反応があります。表情のない方も体で感じていて、眠りが深くなると介護職員から聞きました。

介護施設でお年寄りが一番喜ぶのは、子どもの訪問です。

介護施設で歌声サロンや子どもとの交流がもっと盛んになるように努力します。

介護施設で
歌声サロン

ボランティア
募集中!